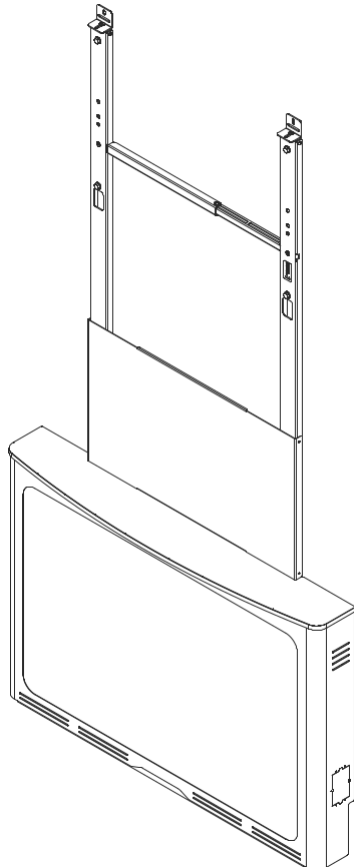


取扱説明書



大型ディスプレイスタンド 型番：AVSFSS



AVSFSS
(ディスプレイブラケットは別売りです。用途に応じて別途お買い求めください)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。


必ずお守りください。


設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。






販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、傾斜のない平らな場所に設置してください。
- ディスプレイを取り付ける際は必ず2名以上で行い、ケガや事故の無いように注意して設置してください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 指定している高さ以上に設置しないようにしてください。
- 地震などの災害発生時には転倒の恐れがありますので、ディスプレイスタンドに近寄らないようにしてください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性のある内容を示しています

-  **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  **注意**：運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

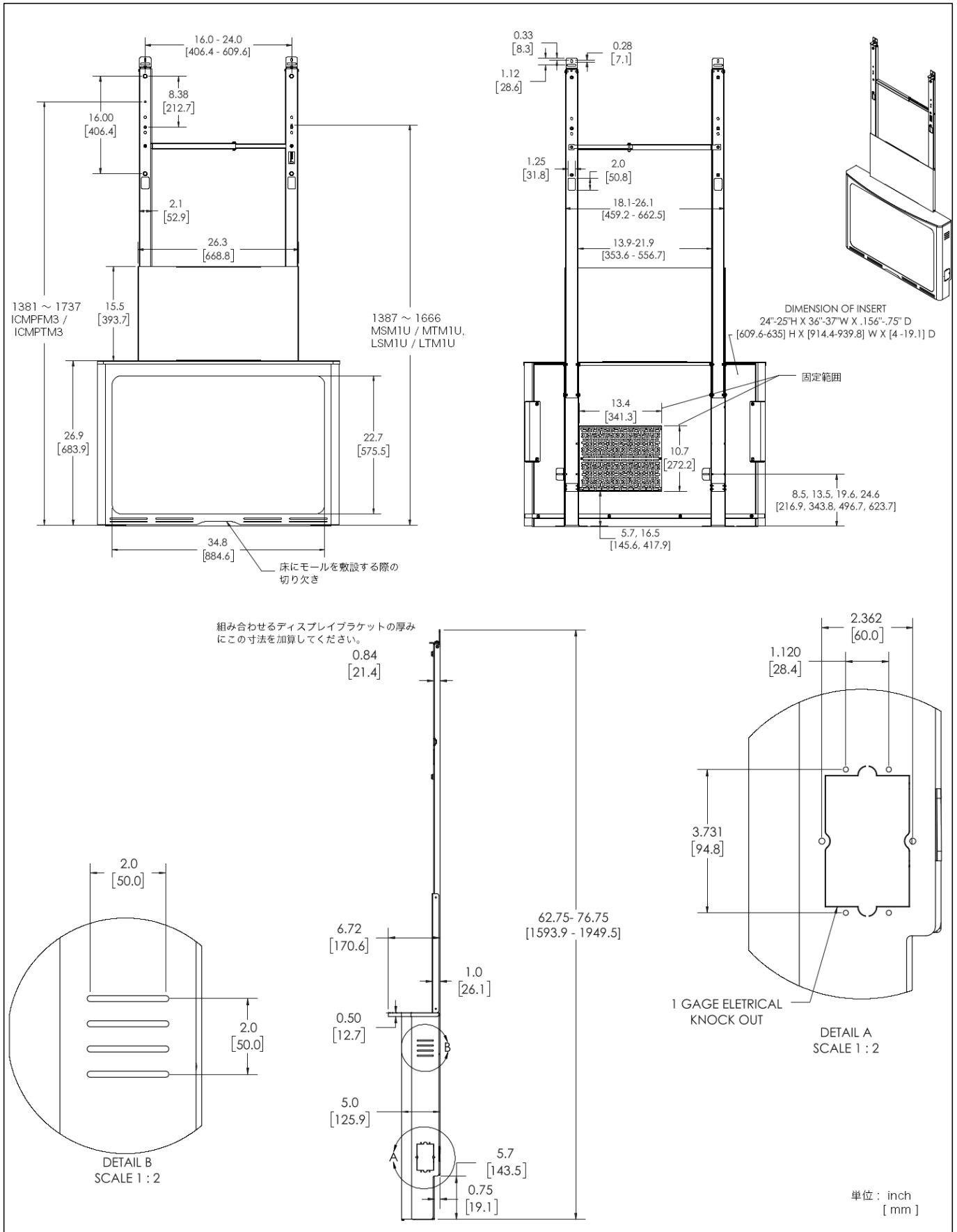
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造物で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

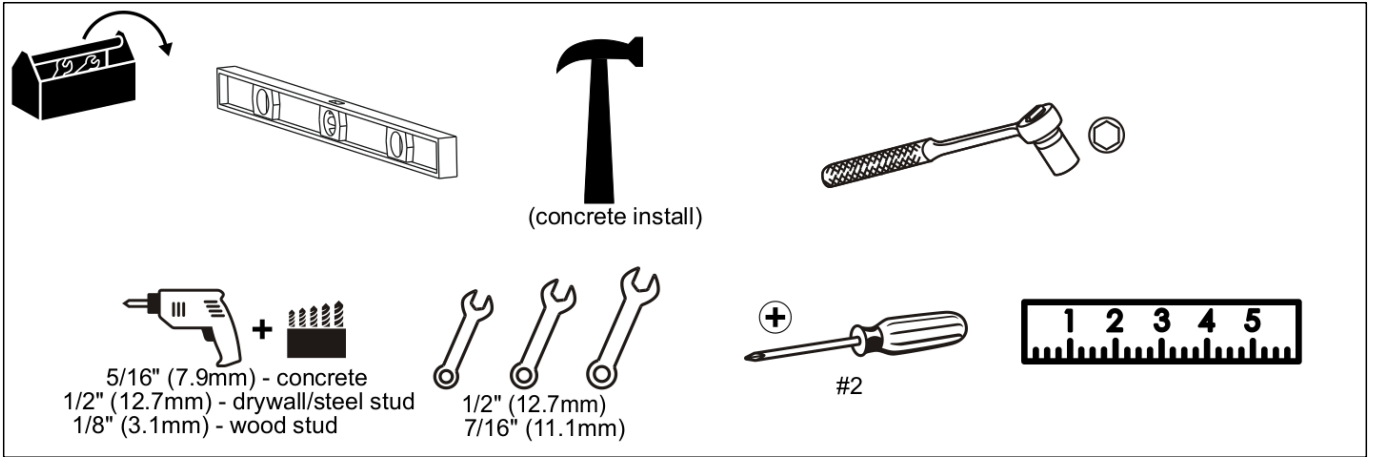
1. 本製品を組み立てるネジ等は、付属品を用い、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイスタンドの適切な設置場所を決めてください。
3. 本製品の組み立てに際してビス固定する場合は、先に仮止めしてから本締めをしてください。
4. 取り付けることができるディスプレイおよびアクセサリーのトータルは**98.4kg**を超えないようにしてください。
5. 本製品に取り付けることができるディスプレイサイズはおおむね70インチ以内です。

■各寸法図

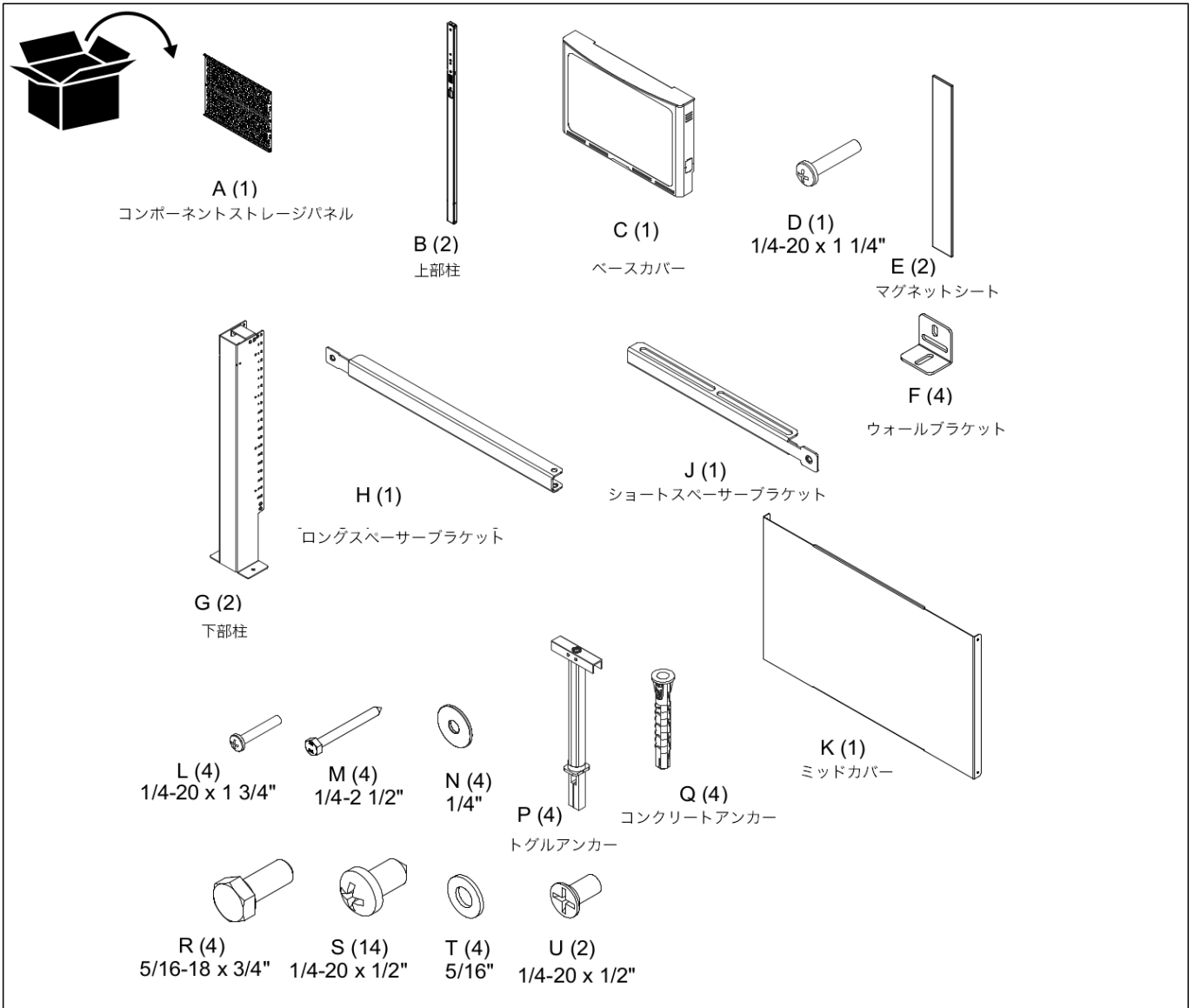


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具

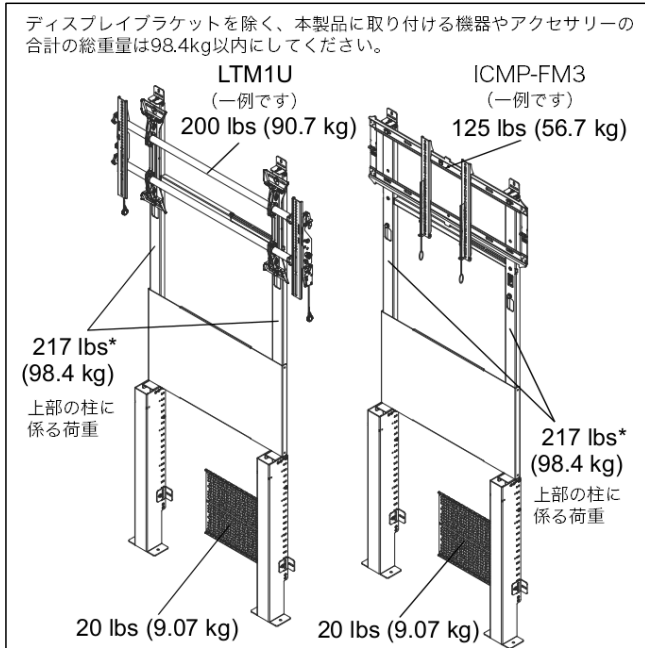


■本製品の封入物



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■本製品の組み立てと壁への取付け

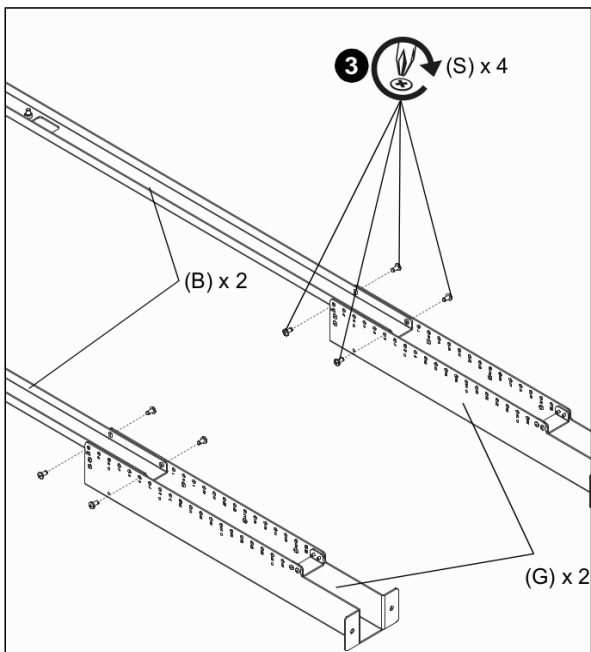


! 注意
 表記の耐荷重を超えると、重傷を負ったり、機器が損傷したりする可能性があります。設置者の責任において、AVSFSSの上部支柱に取り付けられているすべての機器とアクセサリー類の合計重量が98.4 kgを超えないようにしてください。

図のようにLTM1Uの場合は90.4kgまで、ICMP-FM3の場合は、56.4kgまでとなります。

コンポーネントストレージパネルに取付ける機器の合計重量は、9.07 kgを超えないようにしてください。

■上部支柱の組み立て

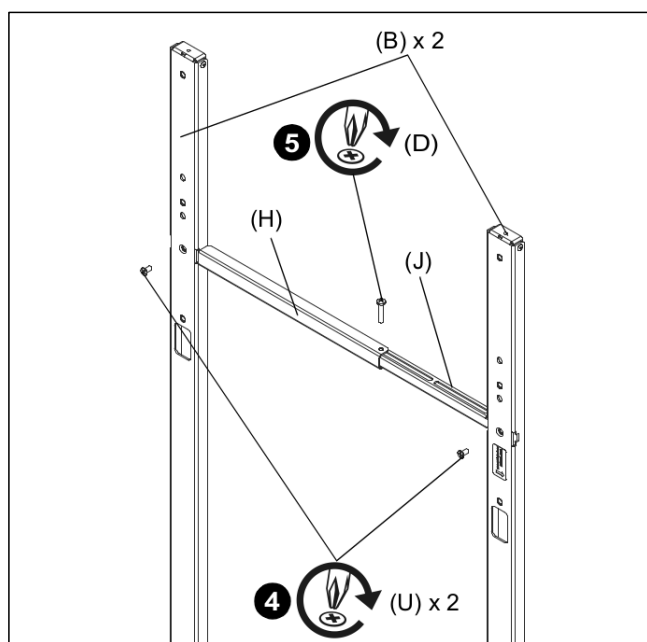


【図-1】

- 以下の表を参考にして、床面からディスプレイの中心までの適切な高さを選び、かつ、使用するディスプレイブラケットに合わせて、アップライト (BおよびG) の組み立てに使用する穴を決定します。
- 4本の1 / 4-20 x 1/2 "プラスタッピングネジ (S) を使用して、上部支柱 (B) を下部支柱 (G) に固定します (図1を参照)。
- 2本の1 / 4-20 x 1/2 "フラットヘッドネジ (U) を使用して、長いスペーサーブラケット (H) と短いスペーサーブラケット (J) を垂直支柱 (B) に固定します (図2を参照)。

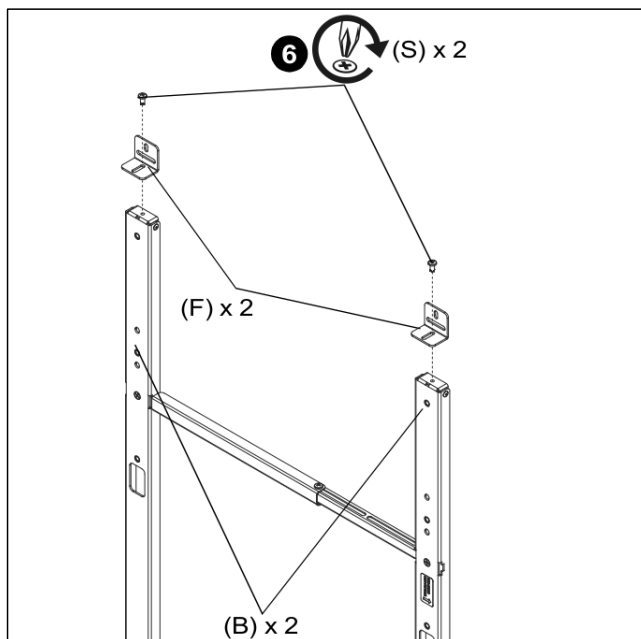
ICMP-FM3 ICMP-TM3	取付穴の番号
床面より173.7cm	1, 6
床面より171.2cm	2, 7
床面より168.6cm	3, 8
床面より166.1cm	4, 9
床面より163.5cm	5, 10
床面より161.0cm	6, 11
床面より158.5cm	7, 12
床面より156.0cm	8, 13
床面より153.4cm	9, 14
床面より150.9cm	10, 15
床面より148.3cm	11, 16
床面より145.5cm	12, 17
床面より143.2cm	13, 18
床面より140.7cm	14, 19
床面より138.1cm	15, 20

MSM1U / LSM1U MTM1U / LTM1U	取付穴の番号
床面より166.6cm	1, 6
床面より164.0cm	2, 7
床面より161.5cm	3, 8
床面より159.0cm	4, 9
床面より156.5cm	5, 10
床面より153.9cm	6, 11
床面より151.4cm	7, 12
床面より148.8cm	8, 13
床面より146.3cm	9, 14
床面より143.7cm	10, 15
床面より141.2cm	11, 16
床面より138.7cm	12, 17



【図-2】

4. 1 / 4-20 x 1 "なべ小ねじ (D) を使用して固定します
長いスペーサーブラケット (H) と短いスペーサー
ブラケット (J) を一緒に。(図2を参照)

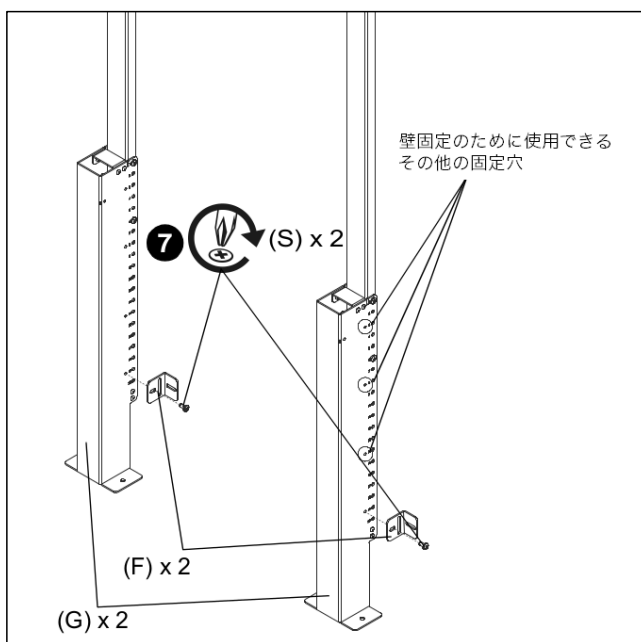


【図-3】

5. 2つの1 / 4-20 x 1/2 "ボタンヘッドキャップネジ
(S) を使用して、2つの壁ブラケット (F) を上部支柱
(B) に固定します (図3を参照)。

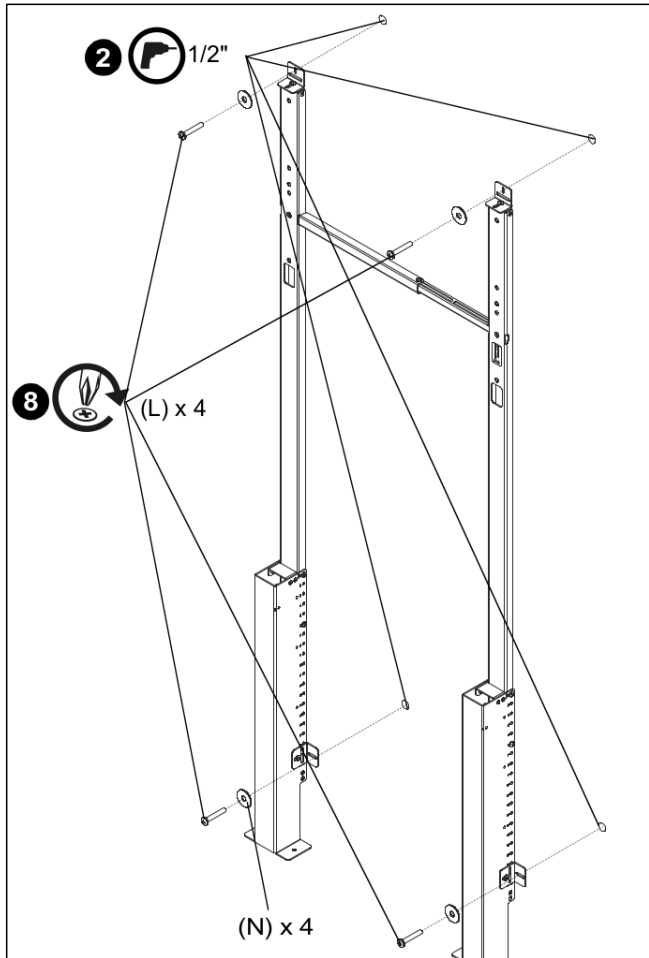
6. 2本の1 / 4-20 x 1/2 "ボタンヘッドキャップネジ
(S) を使用して、2つの壁ブラケット (F) を底部の支
柱 (G) に固定します (図4を参照)。

注：各支柱の4つの穴 (G) は、支柱が相互に取り付けら
れた場所やコンポーネントストレージパネルの位置に
応じて、どちらの側でも使用できます。(図4を参照)



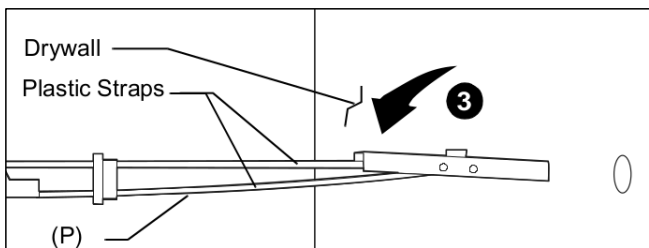
【図-4】

■ドライウォールへの取付 (スチールスタッド補強)

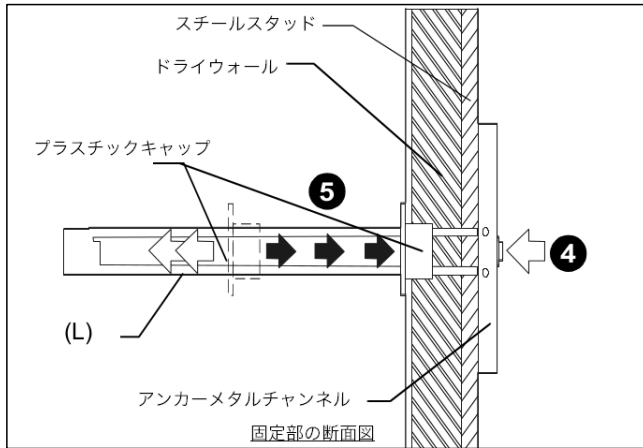


【図-5】

1. 壁への各取り付け位置に穴の位置をマークします
ディスプレイブラケットの位置は水準器を用いて、取付部が水平であることを確認します。(図5を参照)
2. マークされた穴の位置に1/2"の穴を開けます
(図5を参照)。
3. アンカー (P) の金属チャンネルをプラスチックストラップと平行に保持し、チャンネルを穴に通します。
(図6を参照)
4. アンカー (P) にプラスチック製ストラップを保持し、アンカーチャンネルがドライウォールに垂直に配置されていることを確認しながら、チャンネルが壁の後ろで平らになるようにしてからアンカーを壁から引き抜きます。(図7を参照)

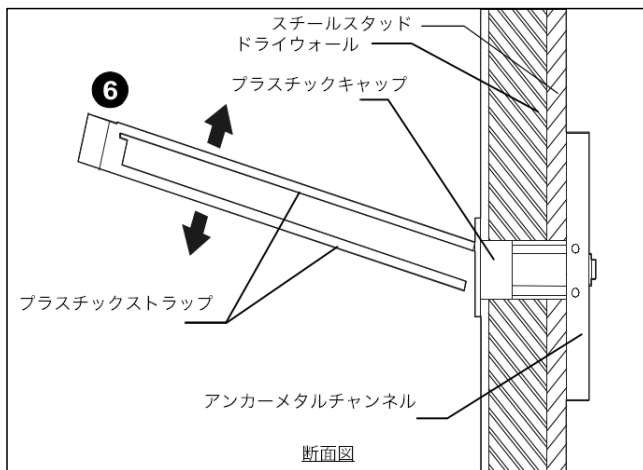


【図-6】



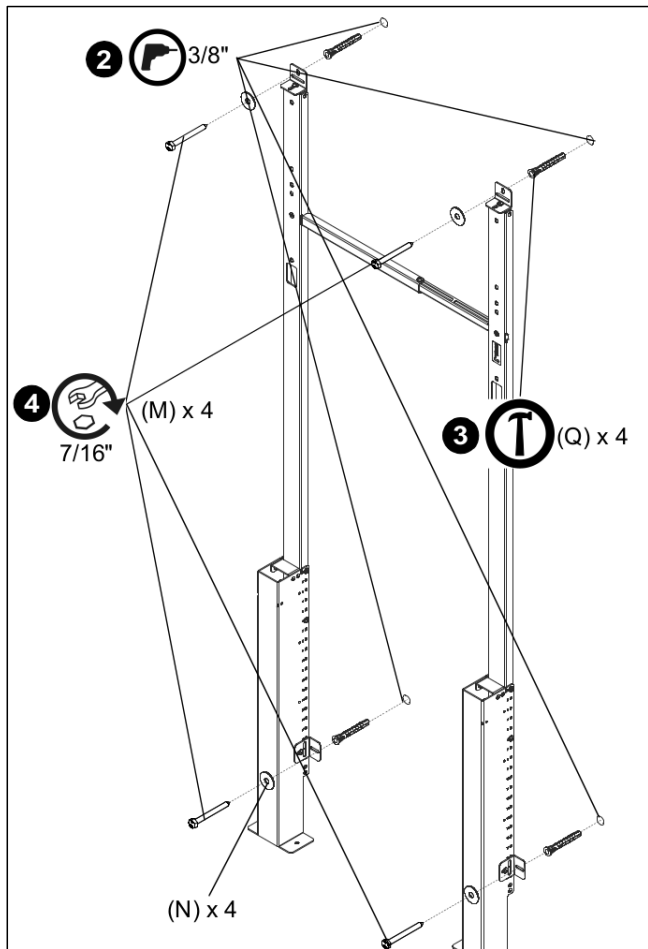
【図-7】

5. アンカーのフランジ (P) をプラスチックの壁に向かってスライドさせ、キャップのフランジが壁とぴったり重なるまで押し込みます。(図7を参照)
6. 壁のアンカーのプラスチック製ストラップを左右に押し外し、ストラップをプラスチックキャップのフランジと水平にします。(図8を参照)



【図-8】

■コンクリート壁への固定



【図-9】

重要！：AVSFSSは、セキュリティ面と固定を強化するために床にボルトで固定してください。本製品は壁への固定をせずに床のみ固定しての設置はできません。

注：壁側を固定する前にまず床側の固定を行ってください。床を取り付ける前に、再度、壁部分の固定を取り外す必要があります。

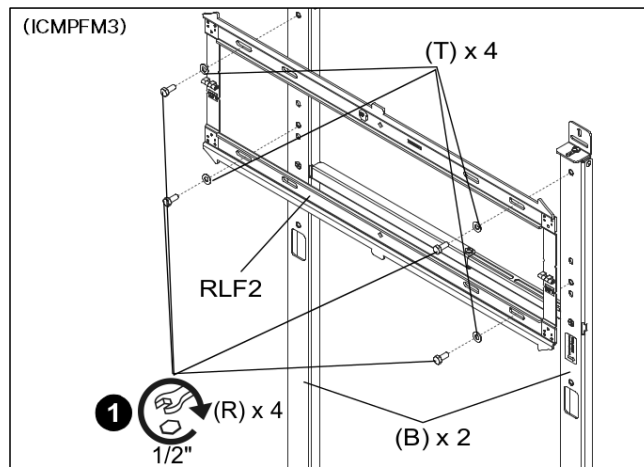
1. 組み立てたスタンドを希望する取り付け位置で壁に立て、各取り付け位置に穴の位置をマークします（図9を参照）。
2. 設置をしたい場所からいちどスタンドを取り外し、マークされた穴の位置に深さ2 3/8"（60mm）の5/16"穴を開けます。（図9を参照）
3. ハンマーを使用して、ドリル穴に4つのコンクリートアンカー（Q）を打ち込んでください。（図9を参照）

■ディスプレイブラケットの取付

警告：表記耐荷重を超えると、重傷を負ったり、機器が損傷したりする可能性があります！設置取付業者の責任において AVSFSSの上部支柱に取り付けられたすべてのコンポーネントと取り付けシステムの合計重量が217ポンド（98.4 kg）を超えないようにしてください。

AVSFSSに取り付けられている取り付けシステムに取り付けられているすべてのコンポーネントの合計重量は、その取り付けシステムの特定の重量制限を超えることはできません。

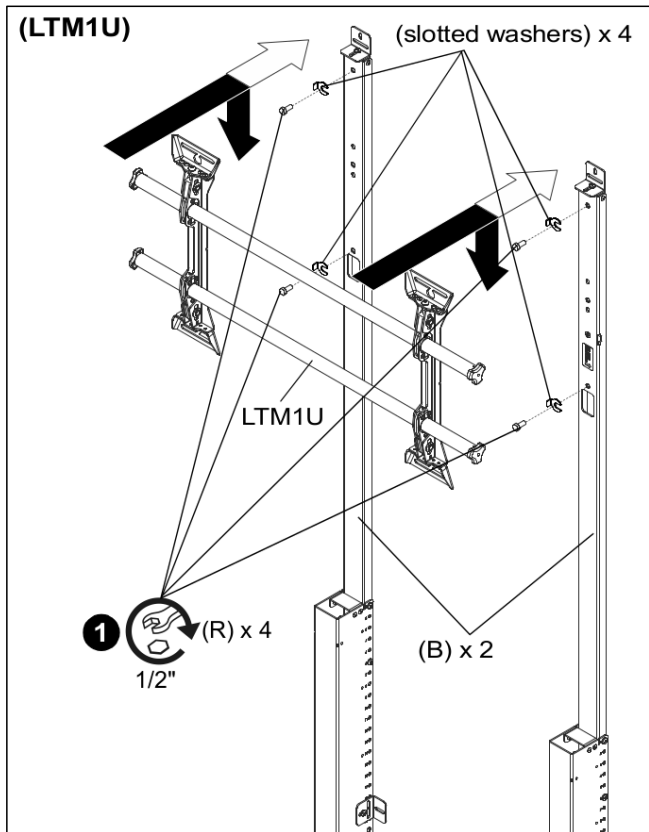
例えば、AVSFSSと組み合わせるディスプレイブラケットがLTM1Uの場合、ディスプレイの耐荷重は90.4 kgとなります。



【図-10】

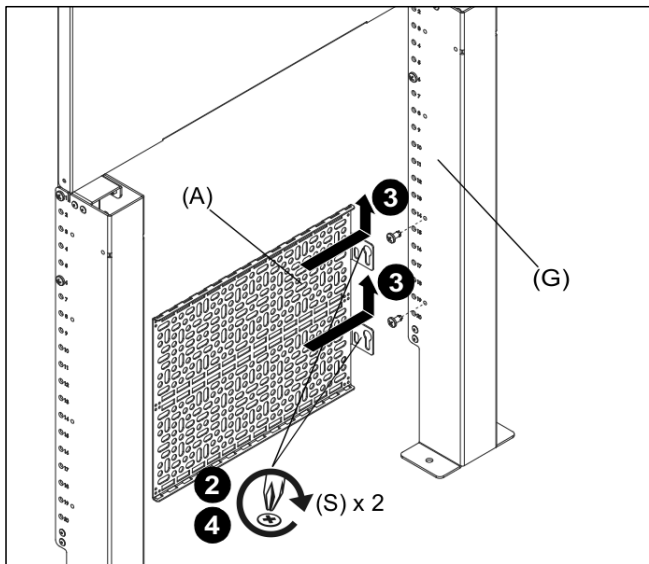
4. 4つの1 / 4-20 x 2 1/2 "六角頭ネジ（M）と4つの1 / 4"ワッシャーを使用して、壁ブラケット（F）を床に固定します。（図14を参照）

1. (ICMP-FM3の場合) 4本の1 / 4-20 x 1/2 "六角頭ねじ（R）と4本の5/16ワッシャー（T）を使用して、RLF2のメインアセンブリを上部支柱（B）に固定します（図15を参照）
2. (LTM1Uの場合) 4本の1 / 4-20 x 1/2 "六角ボルト（R）と4本の溝付きワッシャー（LTM1Uに付属）を上部支柱（B）の上部の穴に緩く取り付けます（図16を参照）。
3. (LTM1Uの場合) LTM1Uメインアセンブリをネジ（R）に配置するには、ティアドロップホールを使用します。（図16を参照）
4. (LTM1Uの場合) 4本のネジ（R）を締めて、LTM1Uを上部支柱（B）に固定します。（図16を参照）
5. ICMP-FM3 / LTM1Uマウントに含まれているインストール手順に従ってディスプレイを取り付けてください。



【図-11】

■コンポーネントストレージパネルの取り付け



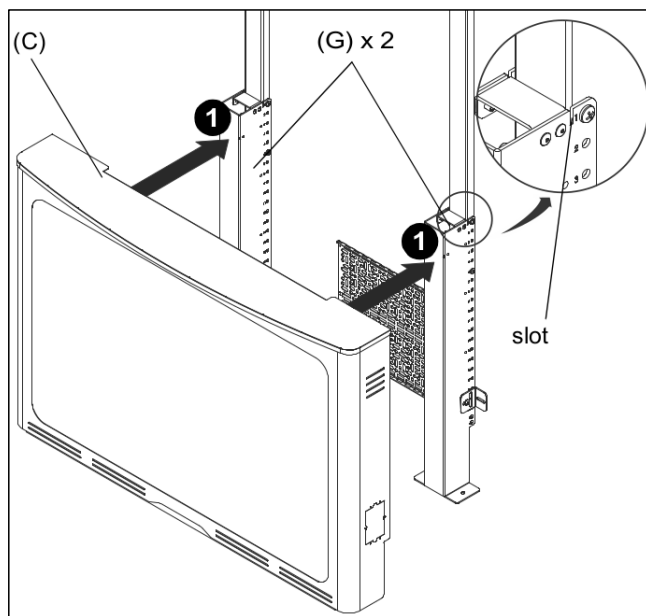
【図-12】

警告：指定された許容耐荷重を超えると、重傷を負ったり、機器が損傷したりする可能性があります！

設置取付業者の責任においてコンポーネントストレージパネルに取り付けられたすべてのコンポーネントの合計重量が20ポンド (9.07 kg) を超えないようにしてください。

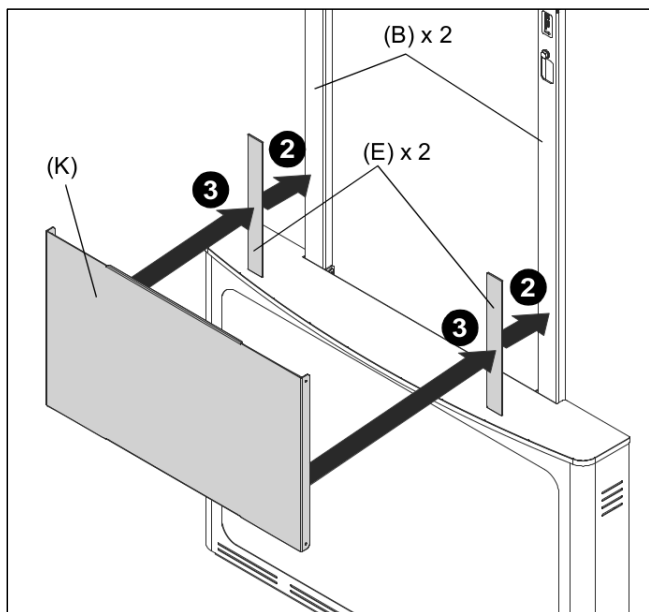
- 1.各コンポーネントに適切なハードウェア (含まれていない) を使用して、コンポーネントをコンポーネントストレージパネル (A) にインストールします。(図12を参照)
2. 2本の1 / 4-20 x 1/2 "プラスなべ小ねじ (S) を、希望する取り付け位置で真下 (G) に緩く取り付けます。(図12を参照)
- 3.ティアドロップ取り付け穴を使用して、取り付けられたネジ (S) にコンポーネントストレージパネル (A) を取り付けます。(図12を参照)
- 4.ネジ (S) を締めて、パネル (A) をアップライト (G) に固定します。(図12を参照)

■ベースカバーの取り付け



【図-13】

- 1.ベースカバー (C) を下部の支柱 (G) に置き、少し浮かせて軽く押さえつけながらおろすようにして支柱の上部のスロットにカバーの縁がはまり込むようにスライドさせます。(図13を参照)



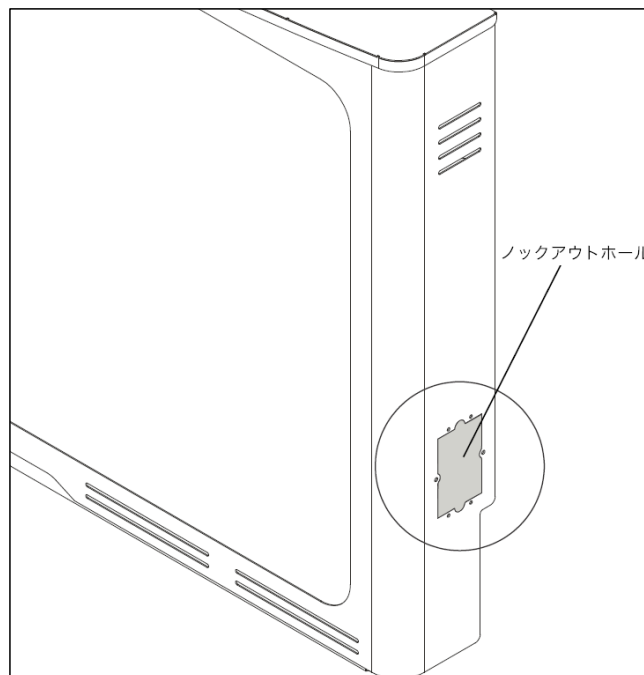
【図-14】

2. 2つのマグネットシート (E) を上部の支柱 (B) に取り付けます。接着剤カバーを取り外して、永久に支柱に固定します。

マグネットシート (E) は、ベースカバー (C) の約2.5cm上に配置する必要があります (図14を参照)。

3. ミッドカバー (K) を2つのマグネットシート (E) の上にかぶせると固定されます。(図14を参照)

■カバーロックアウトの使い方



【図-15】

1. コネクタなどを使用して配線を外部に引き出す場合にはこの穴を利用することができます。接続パネルの加工は別途おこなってください。(図15を参照)

<http://www.avc.co.jp/>